



【課題1】

多様な性を窓口人間尊重の意識を高める研究の推進

①本校の様子と生徒の実態

生徒の多様性

(発達障がい・標準服の自由選択・LGBTQ 等)

保護者の意識の表出

- ・教師と生徒の会話の中で、教師が無意識に発した言葉がけについて、保護者より、LGBTQの視点からの相談。
- ・不登校傾向にある生徒への担任の言葉がけについて、保護者より、子どもの権利の視点から質問。

②ねらい(目標)

教職員自らの人間尊重の意識向上

③活動内容

生徒の意識

- *性に関する講話
- *札幌市まちづくり戦略ビジョン
- *札幌のまちづくりにみんなの声を届けよう！

教職員の意識

- *管理職・担当者が校外の研修会に参加
- *校内研修会での発信
- *パートナー校との合同研修会

重要

生徒と教職員が共につくる学校

- *校則検討
- *学校祭の部門制実施
- *標準服検討

【課題1】

多様な性を窓口人間尊重の意識を高める研究の推進

④成果

教職員の意識向上

- ・札幌市学校教育の重点に示される「人間尊重の教育」について、その目的や推進方法について、共通理解を図ることができた。
- ・「多様な性」を踏まえた生徒指導の必要性に対する意識向上を図ることができた。
- ・札幌らしい学校教育の一つである「さっぽろっ子自治的な活動」と関連付けながら、子どもの権利に対する教職員の意識向上を図ることができた。

⑤課題

教職員の困り感

- ・校内研修等を通して、子どもの“相互承認の感度”が高まることにつながる取組の必要性について共通理解を図ることができた。しかし、その取組の具体については、困り感のある教職員が多いことが分かった。

⑥今後の取組の方向性

人間尊重の教育に向けた取組の推進

- ・促す、認める、支えるにつながる関りについて検討し、生徒の自尊感情と他人を思いやる心や生命を尊重する心の醸成を図る。
- ・9年間つながりのある児童・生徒の育成を目指し、パートナー校間の連携により連続性のある取組の推進を図る。

生徒自身が人間尊重の意識の高まりに気付く手立て

- ・生徒の意識の高まりと、その実感をどのように評価していくかについて検証する。



【課題1】

多様な性を窓口に人間尊重の意識を高める研究の推進

⑦参考資料

【教職員への事前アンケート】

- 東栄中では「子ども一人一人が大切にされている」と実感できる学校づくりが行われているか？
- 以下について、自分はどのような取組を行えば良いかを理解し実践しているか？
 - *学習活動づくり（互いのよさや可能性を発揮できる取組）
 - *人間関係づくり（互いのよさや可能性を認め合える仲間）
 - *環境づくり（安心して過ごすことができる学校空間）
- 「多様な性」を踏まえた対応を要する生徒（保護者）と関わったことがあるか？
- 性別に関係なく、全ての生徒が生活しやすい学校であるか？
- 「多様な性」を踏まえた学校づくりや生徒指導に必要性を感じるか？

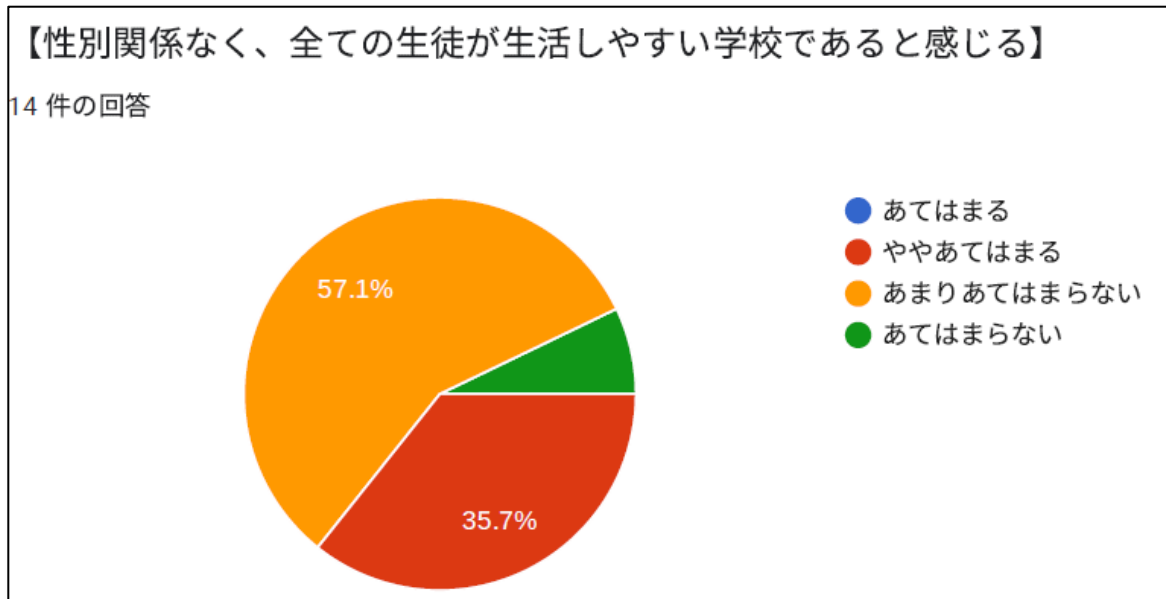


【課題1】

多様な性を窓口人間尊重の意識を高める研究の推進

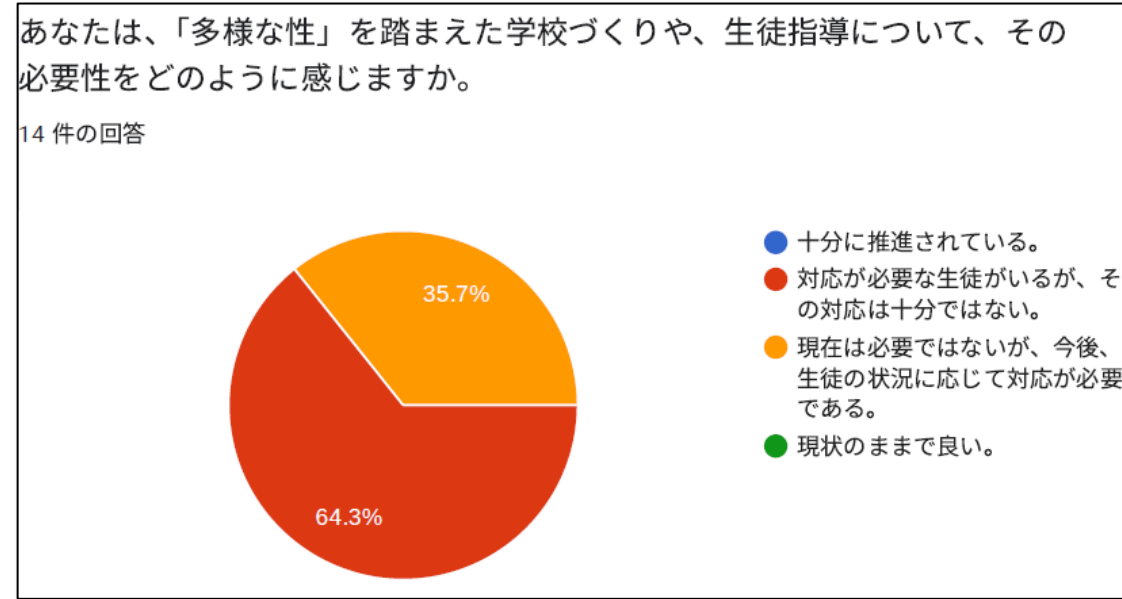
⑦参考資料

【教職員への事前アンケート】



*35.7%が「ややあてはまる」と感じている

*64.3%が「あまりあてはまらない」「あてはまらない」と感じている



*64.3%が現時点での必要性を感じている

*35.7%が現時点での必要性を感じていない



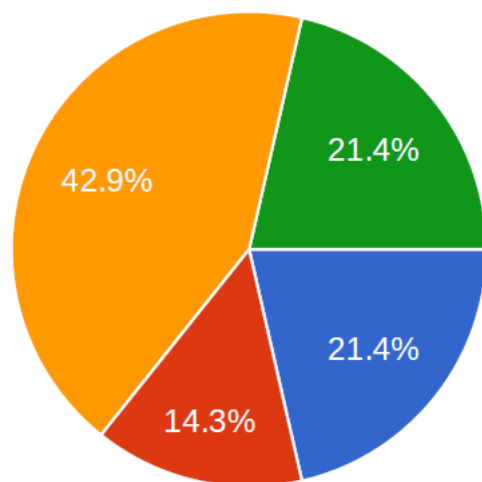
【課題1】

多様な性を窓口人間尊重の意識を高める研究の推進

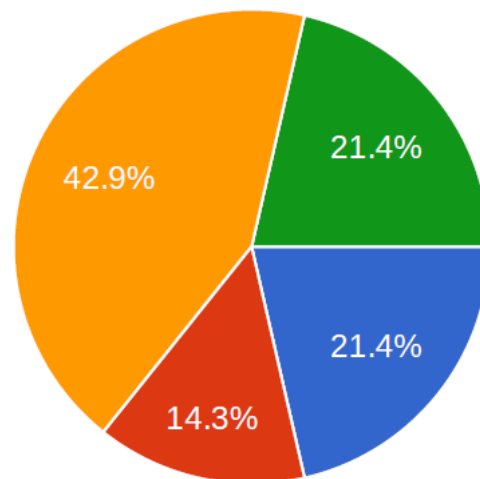
⑦参考資料

【教職員への事前アンケート】

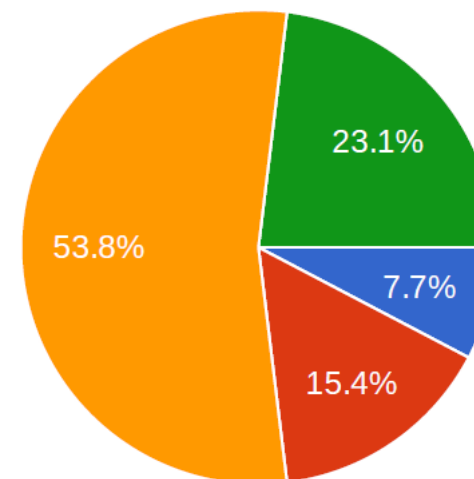
【学習活動づくり】



【人間関係づくり】



【環境づくり】



- 理解し、実践している
- 理解しているが、実践できていない
- あまり理解しておらず、実践できていない
- 理解しているとは言えず、実践できていない

子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくり について

【学習活動づくり】 【人間関係づくり】 については、約79%が実践できていない

【環境づくり】 については、約92%が実践できていない

その取組の具体について、困り感がある教員の割合も高い。



[課題1]

多様な性を窓口人間尊重の意識を高める研究の推進

⑦参考資料

【校内研修会資料(抜粋)】

多様な性に対する理解

東栄中学校 校内研修会
2023/11/02

セクシュアリティ【性の在り方】

性のありようは多様

DDL制作の「セクシュアリティマップ」

LGBT層(性同一性障害及び性的マイノリティ)

電通「LGBTQ+調査2020」

2012 ... 5.2%	2015 ... 7.6%
2018 ... 8.9%	2020 ... 8.9%

LGBTQ+層に該当すると回答した人は、前回の2018年調査と変わらず8.9%であったものの、クエスチョニング(性自認もしくは性的指向が決まらない、分からない)、アセクシュアル・アロマンティック(他人に恋愛感情を抱かない)、エクスジェンダ(性自認が男性・女性どちらとも感じず、どちらとも感じない)などといった「L・G・B・T」の他にも多様なセクシュアリティの存在が明らかになりました。

また、LGBTという言葉の認知率は2018年調査の68.5%から11.6pt上昇の80.1%となり、もはや一般化したと言えるレベルまで浸透しましたが、「L・G・B・T」以外の多様なセクシュアリティ(Q+)についての認知度はいまだ低く、更なる理解促進が待たれるところです。

多様な性を窓口人間尊重の意識を高める教育

性的マイノリティにおいて

いるのに(少数派)いないもの(存在否定)

学校教育において

いるのに(少数派)いないもの(存在否定)

していることはないだろうか・・・?

多様な性を窓口人間尊重の意識を高める教育

いるものを(ひとりひとり)いるものとする(存在容認)

↓

子どもが、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を 価値のある存在として尊重する

↓

人間尊重の教育

子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校

【人間尊重の教育】の推進に向けて大切にしたいこと(学校側)

学校は、「みんな違う」を前提として多様な性を受け入れ、単独の経験を避けて、「自分」と「他人」を「子ども一人一人」(個性)を大切に接する必要がある。そのよう学校において、子どもの個性や多様な性を受け入れる。

子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくり

多様な性

自由 意思決定の場を確保し、主体的に考え、行動する機会を創出する。

自立 主体的に考え、行動する機会を創出する。

相互理解 互いのよさや可能性を認め合い、互いに尊重し合う関係を築く。

人間関係づくり 互いのよさや可能性を認め合い、互いに尊重し合う関係を築く。

環境づくり 安心して過ごせる環境を整える。

「何のために」を考える場の提供

「学びの共通しをもつ場」の提供

「困難からの学び」を受け入れた環境づくり

自己決定の場の提供

本物の経験

相互理解を促す対話の場の提供

失敗から学ぶ場の提供

「さっぽろっ子自発的な活動」の推進

学習活動づくり

互いのよさや可能性を認識できる環境【育てる】環境から【育つ】環境へ

子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくり

人間関係づくり

互いのよさや可能性を認め合い、互いに尊重し合う関係を築く

環境づくり

安心して過ごせる環境を整える

両属性から多様な性へ

学校における性同一性障害への対応

性同一性障害や性的指向・性的自認に係る、児童生徒に対するサポート体制を構築するための実践事例集

北海道教育委員会HP

性的マイノリティに関する参考資料(リンク集)

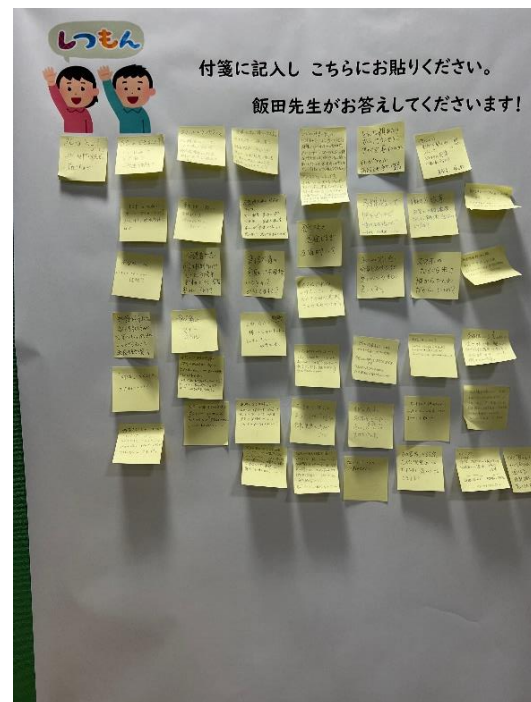
教職員への事前アンケートを踏まえた内容について、推進担当者が参加した校外研修等で得られた情報について、校内の教職員にフィードバックする形で、校内研修会を実施した。

【課題1】

多様な性を窓口人間尊重の意識を高める研究の推進

⑦参考資料

【パートナー校との合同研修会】



小中合同講演会

子ども一人一人が「大切にされている」と実感できる学校づくり
～子どもの「可能性」と「自立」を支える大人の役割を考える～

東栄中
本町小
東光小
音韻小

【パートナー校「9年間を見通した」目指す児童・生徒像】

- ・(知) 未来を創造し、仲間とともに考え、知性と感性を磨き合う子
- ・(徳) 思いやりの気持ちを持ち、互いを尊重し、認め、助け合う子
- ・(体) 健康な体づくりを心がけ、仲間とともにねばり強く鍛え合う子



講師 飯田 昭人 氏

開催日 2024年 2/7 (水)
 時間 15:00～16:30
 場所 東栄中学校体育館

駐車スペース(①～④)をご利用ください。




おまちしております!

東栄中学校 東区本町1条7丁目2-7 011-781-0278

パートナー校における合同研修会とすることで、テーマに対する教職員の共通理解を図り、
9年間つながりのある児童・生徒の育成を目指すことにつながる。

【課題1】

多様な性を窓口人間尊重の意識を高める研究の推進

⑦参考資料

【助産師による「性に関する講話」(1・2年対象)】



多様な性に対する生徒の意識（1年生）～感想より～

- * 普段の授業や、家では教えてもらえないことについて、話を聞いてよかった。
- * 「性」には、心、体、好きになる性など、いろいろあることを改めて知った。
- * 人のことを見た目や服装で判断してはいけないことを知った。
- * 多様性については、世界でも注目されていて話題になっているが、日本はまだ遅れていると感じる。まだまだ不安な世の中を、私たちが変えていけるように頑張りたい。



多様な性に対する生徒の意識（2年生）～感想より～

- * 男は男らしく、女は女らしく、といった考え方があったことに驚いた。
- * 「命の大切さ」と「命への責任」について考えることができた。
- * 昔と比べて差別がなくなってきたが、まだまだ差別がある。
- * 心や体、好きになる性が違う人の気持ちは分からないけれど、相談されたときには寄り添えるようになりたい。

多様な性に対する生徒の意識（特別支援学級）～感想より～

- * ジェンダーを理解してくれて、自分はうれしかった。
- * 「女の子らしく」「女子のくせに」という話題に、すごく共感した。あらためて、自分は自分でいいんだと感じた。

生徒の感想では、思春期の身体と心の変化、性の多様性に関する話題が多かった。また、生徒の疑問・質問に対して、助産師さんから丁寧な回答をいただき、養護教諭がほけんだよりで生徒にフィードバックした。



【課題1】

多様な性を窓口人間尊重の意識を高める研究の推進

⑦参考資料

【社会科での取組】

第2次札幌市まちづくり戦略ビジョン

札幌のまちづくりにみんなの声を届けよう！



まちづくりに対する生徒の意見

- * 運動することができる施設を増やしてほしい。
- * 雪の重さで発電することができるようにする。
- * 妊娠や出産時の診察料金の負担を少なくし、少子高齢化への対応に力を入れてほしい。
- * 生理用品の無料配布など、女性が過ごしやすい街にしてほしい。
- * きれいな公衆トイレを作ってほしい。
- * 車いすでも不自由なく移動できる街にしてほしい。
- * 車中心の生活から公共交通機関中心の生活に変換できるよう、公共交通機関を充実させてほしい。
- * 札幌でも魚が釣れるようにしてほしい。
- * 中央区以外の場所にも、楽しい場所を作ってほしい。
- * 福祉力向上のため、中高生が高齢者と深くかかわることができるイベントや活動を増やすべき。

札幌市出前講座や、各部局から示されたリーフレットを教材として活用した。

*自分の「～したい」を実現させる方法について考えを巡らせる

*様々な他者を捉え、自分たちの「～したい」を実現させる方法について考えを巡らせる

→ 「自由」と「共生」を学ぶ場を通して、「自立」を支える場とする